

「バイオマス資源の多段階エネルギー化システムの開発による環境共生社会の創造」

日時

平成21年6月18日(木)
13:00~17:25

場所

東京農業大学
世田谷キャンパス 1号館メディアホール

プログラム

13:00~13:05	1. 開会の辞
13:05~13:10	2. ご挨拶 東京農業大学 学長 大澤 貫寿
13:10~14:10	3. 第1部 特別講演 バイオリファイナリー触媒技術の新展開 東京農業大学 総合研究所 客員教授 市川 勝
14:10~14:30	休憩
14:30~14:45	4. 第2部 平成20年度社会連携研究 研究発表会
14:45~15:00	(1) オカラからの水素発酵における原料の前処理効果 ○徳田 宏晴・田中 努・中西 載慶
15:00~15:15	(2) 好気性可溶化処理を適用した生ごみの二相式メタン発酵に関する研究 ○初山 祥太郎・登坂 充博・大西 章博・藤本 尚志・鈴木 昌治
15:15~15:30	(3) 廃棄物系バイオマスからのバイオ水素生産技術の開発 ○大西 章博・板東 由起子・外ノ岡 和政・本多 宏明・藤本 尚志・鈴木 昌治
15:30~15:45	(4) エタノール固体発酵による食品廃棄物からのバイオエタノールの生産 ○本多 宏明・大西 章博・藤本 尚志・鈴木 昌治
15:45~16:00	(5) 木質バイオマスを原料とした炭化処理・爆砕処理・過熱水蒸気処理の比較 ○佐貫 安希子・入江 満美・山口 武則・牛久保 明邦
16:00~16:15	(6) 過熱水蒸気処理液・爆砕処理液の農業利用に関する研究 ○牧野 有作・佐貫 安希子・入江 満美・山口 武則・牛久保 明邦
16:15~16:30	休憩
16:30~16:45	(7) 高知県物部川流域における低炭素社会の構築について ○牧 恒雄
16:45~17:00	(8) バイオマス資源利活用による地域農産物のブランド化 —島根県松江市 JA くにびきの取り組みを事例として— ○原 温久
17:00~17:15	(9) 森林資源の利用に対する住民の定性的・定量的分析 ○間々田 理彦・田中 裕人
17:15~17:25	(10) さとうきびからのバイオエタノール生産と普及の可能性について ○五十嵐 春子・北田 紀久雄
17:15~17:25	5. 総括及び閉会の辞 東京農業大学 総合研究所 所長 河野 友宏

18:00より懇親会(東京農業大学グリーンアカデミーホールにて 参加費1,000円)



主催：東京農業大学社会連携研究プロジェクト
研究課題「バイオマス資源の多段階エネルギー化システムの開発による環境共生社会の創造」
後援：東京農業大学総合研究所 お問い合わせ先：東京農業大学総合研究所 (03-5477-2532)